

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| (1) 温帯 <small>おんたい</small>            | (2) 冷帯 <small>れい</small> 〔亜寒帯 <small>あかん</small> 〕 |
| (3) 季節風〔モンスーン〕                        | (4) 梅雨 <small>つゆ</small>                           |
| (5) 台風                                | (6) 地震 <small>じしん</small>                          |
| (7) 活断層 <small>かつだんそう</small>         | (8) 津波 <small>つなみ</small>                          |
| (9) 東日本大震災 <small>ひしにほんだいしんさい</small> | (10) 火砕流 <small>かさいりゅう</small>                     |
| (11) 水害                               | (12) 土石流 <small>どせきりゅう</small>                     |
| (13) 洪水 <small>こうずい</small>           | (14) 干ばつ   |
| (15) 冷害                               | (16) ハザードマップ                                       |
| (17) 減災                               | (18) 公助  |
| (19) 自助                               | (20) 共助  |

## 解説

- (3) 夏は太平洋からの湿った暖かい南東の風，冬はシベリアからの乾いて冷たい北西の風で日本海を越えるときに水蒸気を含むため，日本海側に大雪をもたらす。
- (7) 活断層は将来も地震を起こす可能性が高いため，近くに住宅やダム，原子力発電所などを造ることは防災上好ましくない。
- (9) 津波は考えられていた高さ以上のものであったため，各地に大きな被害をもたらした。
- (11) 日本は山がちな地形であるうえに，河川の上流に急流が多いことから水害が発生しやすい。
- (14) 西日本では干ばつに備えて古くからため池がつくられてきた。
- (16) ハザードマップは都道府県や市区町村から発行されていることが多い。
- (17) 自然災害の発生そのものを完全におさえることはできないため，いかに被害を小さくするかという減災の考え方が重要になってくる。